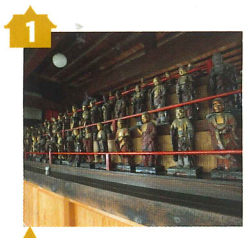
1 玉宝寺の五百羅漢
ぎょくほうじのごひゃくらかん



玉宝寺は、天文3年(1534)小田原北条氏の家臣・垪和伊予守(はがいよのかみ)により建立された。木彫りの五百羅漢像は、宝歴7年(1757)の完成で、本堂に所狭しと並列するさまは壮観であり、市の指定文化財となっている。

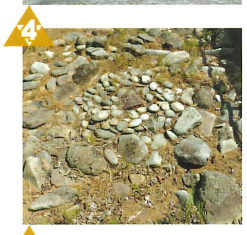
2 久野古墳群
くのこふんぐん

久野古墳群は「久野百塚」「久野九十九塚」といわれるほど数多くの古墳が分布しており、120基ほどあったと考えられている。1号墳は「百塚の王」といわれ、直径は60mを超えると考えられている。4号及び15号墳は復元され、見学できるようになっている。

3 総世寺
そうせいじ

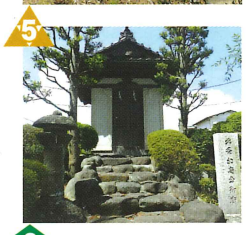
大森信濃守頼明の子である最乗寺十世安叟禅師(さいじょうじじゅっせあんそうぜんじ)により創設された。天正18年(1590)の小田原合戦では、羽柴秀次が陣を張った際、寄進した梵鐘が市の指定文化財となっている。総門をくぐったところにあるカヤは、市の天然記念物となっている。

4 中世集石墓
ちゅうせいしゅうせきぼ



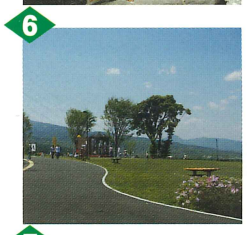
大・小126個ほどの河原石が敷かれている敷石遺構は、縄文時代晩期から弥生時代の敷石住居址と推定されていたが、最近の研究では集石墓といわれる中世の墓であると考えられている。市の指定文化財となっている。

5 北条幻庵屋敷跡
ほうじょうげんあんやしきあと



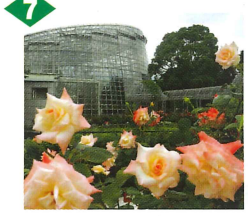
北条幻庵(早雲の末子)はここで生まれ、幼少から箱根権現に入寺した後、京都で修業し、北条一の文化人となった。兄・氏綱の逝去後は、3代氏康・4代氏政の後見人として一族の長老的存在となり、北条氏が滅びる8か月前に、97歳でこの屋敷で亡くなったとされる。近くの京福寺の裏手には幻庵の墓がある。

6 県立おだわら諏訪の原公園
けんりつおだわらすわのはらこうえん



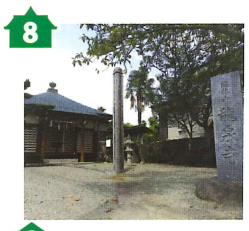
小田原フラワーガーデン(約4.2ha)を含む飯田岡・府川・北ノ窪・久野地区にまたがる広さ約69.2haの県立都市公園で、現在も一部整備中である。平成18年3月に開園し、全長169mのローラー滑り台や展望広場にある大型遊具が人気。

7 小田原フラワーガーデン
おだわらふらわーがーでん



トロピカルドーム温室(有料)は、常時200種の熱帯果樹や花が楽しめる。5～11月にはばら、6月には花菖蒲が楽しめるほか、約200種480本以上の梅がある渓流の梅林は壮観。花や植木、花瓶などの雑貨を取り揃えたフラワーショップも併設。
開館時間 9:00～17:00(トロピカルドーム入館は16:30まで)
休 園 日 月曜日、祝日の翌日、年末年始
入 園 料(トロピカルドーム) 大人200円、小中学生100円

8 龍泉寺観音堂
りゅうせんじかんのんどう



開山は弘治元年(1555)で、本尊十一面観音、左に薬師如来と十二神将、右にマリア観音、びんづる、石地蔵を安置する(通常非公開)。境内には享保17年(1732)のものをはじめとする寒念仏供養塔が9基並んでおり、非常に珍しい。

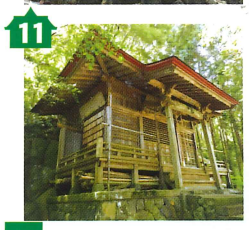
9 いこいの森
いこいのもり

豊かな森、清流、きれいな空気。自然に親しみながらバーベキューやバードゴルフ、木工芸体験、森林浴を楽しめる。夏休み期間にはキャンプ場もオープンする。
休園日 月曜日、祝日の翌日、年末年始
(夏休み期間は無休)

10 こどもの森公園わんぱくらんど・辻村植物公園
こどものもりこうえんわんぱくらんど・つじむらしょくぶつこうえん

こども列車やポニーに乗って遊べるほか、小田原城アドベンチャー(アスレチック施設)などがあり、園内からは広々とした眺望も満喫できる。隣接する辻村植物公園では、世界各国から取り寄せた西洋草花や樹齢100年を超える梅林など、四季を通じて美しい景観を見ることができる。

11 水之尾毘沙門天
みずのおびしゃもんてん

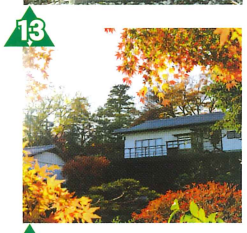


伝承によれば、小田原北条氏のころ、小田原城修繕のために城石の切出しをしていたところ、突然石の間から血が流れ出た。その夜、毘沙門天が夢枕に立ち「わが身を傷つけるな。しからばお前を守護してやろう」といった。そこで切出しを中止し、この自然石を本墓として、毘沙門天を祀ったという。

12 からたちの花の小径・白秋童謡の散歩道
からたちのはなのこみち・はくしゅうどうようのさんぽみち

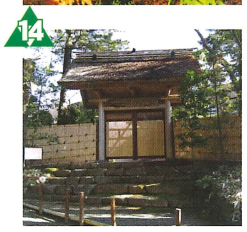
大正7年(1918)から15年(1926)までを小田原で過ごした北原白秋は、この小径を散策し、代表作「からたちの花」を創作した。市内にはほかに傳肇寺(みみずく寺)や旧居跡などゆかりの地も。小田原駅西口と白秋童謡館を結ぶ約4kmの散歩道には案内板などがあり、白秋童謡に思いを馳せることができる。

13 松永記念館・老欅荘
まつながきねんかん・ろうきょそう



日本の電力王と呼ばれ、実業界で活躍した松永安左ヱ門(耳庵)が自宅の敷地内に建設したもの。老欅荘(国登録有形文化財)は、耳庵が晩年過ごしたところで、茶室等の意匠をこらした近代数寄屋建築。庭園は「日本の歴史公園100選」に選定されている。

14 古稀庵・板橋の邸園群
こきあん・いたばしのていえんぐん



明治の佇まいを今に残す板橋界隈は、鉄道(東海道線)が国府津まで開通すると、温暖な気候と美しい景観によって、政財界人の別荘地や保養地として注目された。明治の元勲・山縣有朋の別邸・古稀庵、元首相・清浦奎吾が建て、後に山縣が古稀庵の別庵として使用した皆春荘、実業家・大倉喜八郎の別荘・共寿亭などがある。

小田原城址公園

天守閣が立つ本丸を中心とした城址公園。
梅・桜・つつじ・藤・花菖蒲・あじさいやハスなどの季節の花の名所としても知られ、市民や観光客の憩いの場となっています。
2019年4月20日に歴史見聞館 小田原城NINJA館がリニューアルオープン！戦国時代の北条氏を陰で支えたと言われる風魔忍者をモチーフに、忍者の存在が学べ、新鮮な体験・体感ができる展示となっています。
〈歴史見聞館 小田原城NINJA館〉
開館時間 午前9時～午後5時(午後4時30分入館締切)
入 館 料 大人300円、小・中学生100円
休 館 日 12/31、1/1

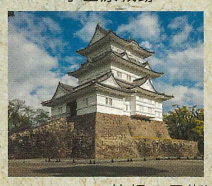
日本遺産 箱根八里
平成30年5月24日認定

旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 ―箱根八里で辿る遥かな江戸の旅路―

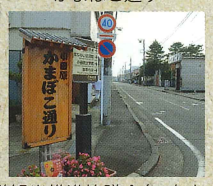
「天下の険」と歌に唄われた箱根山を東西に越える一筋の道、東海道箱根八里。江戸時代の大幹線であった箱根八里には、繁華な往来を支えるために当時の日本で随一の壮大な石畳が敷かれました。西国大名やオランダ商館長、朝鮮通信使や長崎奉公など、歴史に名を残す旅人達の足跡残る街道をひととき辿れば、宿場町や、茶屋、関所や並木、一里塚と、道沿いに次々と往時のままの情景が立ち現れてきて、遥か時代を超え、訪れる者を江戸の旅へと誘います。

認定された小田原の日本遺産構成文化財

小田原城跡



かまぼこ通り



ういろう

箱根八里街道観光推進協議会(三島市、函南町、箱根町、小田原市)

「町をたのしむなら、小田原さんぽ！」

小田原さんぽ
ODAWARA

ダウンロード無料

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

歴史やレジャー等の観光スポット情報、オススメのモデルコース情報など、このアプリひとつで、小田原をまるごと楽しむことができます。
まずはダウンロード！
※英語版・中国語版もあります。

ARポイント
カメラを向けると、現存しない城郭などの史跡を色鮮やかにスマートフォンの画面を通して再現し、当時の様子を体験できます。
市内に十数箇所のスポットがあります。

2019.03.30000

久野の里山

わんぱくらんど

ウォーキングタウンおだわら 散策マップ

中央版

お堀と桜

お問い合わせ
◆小田原市観光課 ☎0465-33-1521
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/
◆小田原市観光協会 ☎0465-22-5002
http://www.odawara-kankou.com/
◆小田原駅観光案内所 ☎0465-22-2339

ウォーキングマナー5箇条
・やあ!おはよう明るい挨拶さわやかに
・信号で、あわてずあせらず待つ余裕
・ひろがるな、参加者だけの道じゃない
・自分のゴミ、自分の責任もち帰り
・歩かせていただく土地に感謝して

散策マップは中央版のほかに西部版と東部版があります。
見どころいっぱいの小田原市観光情報はこちらから。

15 浄永寺
じょうえいじ

弘安3年(1280)に開山された日蓮宗の寺院。寺宝の日蓮上人画像は「日蓮上人蛇身解脱画像」といわれ、県の重要文化財に指定されている。

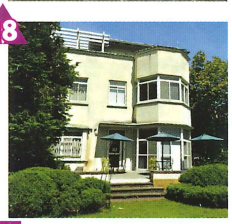
16 総構(小峯御鐘ノ台大堀切・三の丸新堀土塁・早川口遺構) AR
そうがまえ(こみねおかねのだいおおほりきり・さんのまるしんほりどるい・はやかわぐちにこう)

小田原北条氏が豊臣秀吉との合戦に備え、天正18年(1590)までに小田原城とその城下を囲う周囲約9kmにも及ぶ大規模な空堀と土塁を築いた。現在も各所に堀や土塁の痕跡が残り、空堀としては全国的にも最大規模の「小峯御鐘ノ台大堀切」のほか、「三の丸新堀土塁」や「早川口遺構」などは国指定史跡である。

17 大久寺
だいきゅうじ

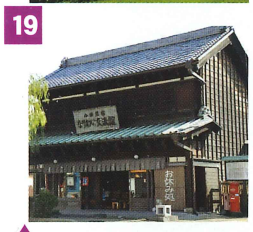
小田原城主大久保忠世が開基した大久保家の菩提寺。忠世は、文禄3年(1594)小田原城中で死去し大久寺に葬られた。忠世の墓石は損傷も少なく立派なもので、二代城主忠隣など7基の墓石があり、市の指定文化財となっている。

18 小田原文学館・白秋童謡館
おだわらぶんがくかん・はくしゅうどうようかん



本館には小田原ゆかりの文学者の資料、別館の白秋童謡館には北原白秋の資料をそれぞれ展示。庭園の一角には昭和を代表する小説家・尾崎一雄の書斎も移築されている。
開館時間 9:00～17:00(入館16:30まで)
休 館 日 年末年始
入 館 料 大人250円 小中学生100円

19 小田原宿なりわい交流館・街かど博物館
おだわらじゅくなりわいこうりゅうかん・まちかどはくぶつかん



旧網問屋を再整備し、誰でも立ち寄れる街なかの「お休み処」として開館。お茶の提供(無料)もある。周辺には古くから小田原の産業を支えてきた地場産業に関するひと・製品・ものづくりの結びつきを知ることができる街かど博物館(市内19箇所)があり、街歩きスポットに最適。

20 報徳二宮神社
ほうとくにのみやじんじゃ

江戸時代後期の小田原城主大久保忠真に登用され、数々の業績を残した二宮尊徳翁を祀った社で、明治27年(1894)、当時の人々がゆかりの天守閣下の地を選んで創建した。平成29年には創建120周年事業の一環として、大鳥居が建立された。御用材には辻村山林の樹齢300年の大杉が使用されている。

21 清閑亭
せいかんてい

黒田長成(元貴族院副議長)の別荘として、明治末期から大正初期に建てられた。雁行(がんこう)状平面で数寄屋風の丁寧な造りが特徴。材質及び技法に優れた純和風建築で、歴史的文化的価値が認められ、平成17年(2005)、国の登録有形文化財に登録。

22 北条氏政・氏照の墓所
ほうじょうしまさ・うじてるのぼしょ

天正18年(1590)に豊臣秀吉が小田原北条氏を攻略した際、徳川家康と外戚関係にあった城主氏直は高野山に追放された。氏政(四代城主で氏直の父)と氏照(八王子城主)の兄弟は切腹させられ、この地にあった小田原北条氏の氏寺、伝心庵に葬られた。墓所は市の指定文化財となっている。

23 荻窪用水
おぎくぼようすい

江戸時代に小田原藩の水田事業として開かれた用水。工事開始は寛政9年(1797)。箱根町湯本付近で早川の水をせき止め、そこから山間を抜け、荻窪へとつながる全長10.3kmの用水路。ところどころに隧道や開渠が見られる。平成23年(2011)、土木遺産に認定。

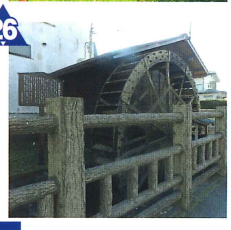
24 萬松院
ばんしょういん

小田原城主大久保忠世が、織田信長の命令で自害した松平信康(徳川家康の長男)を供養するために建てた寺。荻窪用水を開通させるには、境内を通さなければならなかったため、交換条件で再建された茅葺きの庫裏(くり)が現存し、古文書も多数保存されている。

25 山縣水道水源池
やまがたすいどうすいげんち

明治の元勲・山縣有朋が、老後を過ごした別荘古稀庵のために作った水道施設の水源池で、荻窪用水から分水している。山縣水道は明治42年(1909)に完成し、総延長は1,860mもある。

26 水車小屋
すいしゃごや



明治13年(1880)には、荻窪用水を利用した水車小屋は19軒あったが、現在はこの水車が残るだけである。かつては米つきなどで利用されていた。

27 めだかの学校
めだかのがっこう

童謡「めだかの学校」は、童話作家茶木滋(ちゃきしげる)による作詞。昭和25年(1950)にNHKから依頼を受けて、芋の買い出しの途中、この付近で息子と交わした会話を基にして作られた。

小田原市民のオススメ観光スポットコンテスト

平成29年夏、観光客にオススメしたいイチ推しの観光スポット「推しスポ」を募集し、733件の応募と6,594票の投票の中からベスト30が決定しました。あなたの知らない小田原が見つかるかも？

推しスポベスト30はここからチェック！

諏訪の原・西部丘陵ウォーキングコース

市街地を見下ろし相模湾を望む、なだらかな丘陵沿いのレジャースポット、文化施設を巡る。

- 飯田岡駅 31分 1700m
- おだわら諏訪の原公園⑥ 7分 500m
- 小田原フラワーガーデン⑦ 13分 800m
- 龍泉寺観音堂⑧ 18分 900m
- 見晴らしスポット VIEW!! 45分 2800m
- いこいの森⑨ 8分 800m
- わんぱくらんど⑩ 3分 300m
- 辻村植物公園⑩ 10分 770m
- 水之尾毘沙門天⑪ 13分 1100m
- からたちの花の小径・白秋童謡の散歩道⑫ 9分 700m
- 小峯御鐘ノ台大堀切⑯ 18分 1400m
- 小田原城址公園 15分 1100m
- 小田原駅東口

城址公園コース 距離 12.9km 時間 3時間10分

- 小田原駅西口 15分 1300m
- 松永記念館⑬ 27分 2100m
- 箱根板橋駅 8分 600m

小田原駅西口コース 距離 11.7km 時間 2時間50分

- 山縣水道水源池㉕ 8分 600m
- 箱根板橋駅

箱根板橋駅コース 距離 11.3km 時間 2時間50分

- 風祭駅 17分 1000m
- 風祭駅

風祭駅コース 距離 10.2km 時間 2時間40分

注意事項

- 車に気をつけて、適度な休憩と水分補給を忘れずに、散策をお楽しみください。
- 野生の生物等（サル、イノシシ、ヘビ、ハチ等）が出没することがありますので、十分に注意して歩行してください。
- 雨の日は足場が悪くなるところもありますので、歩行はご遠慮ください。
- 勝手に畑の中に入ったり、農作物をとるなどの行為はしないでください。

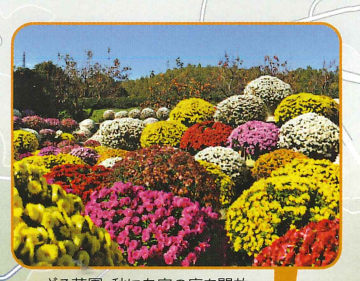
久野遺跡巡りコース

緑豊かな尾根づたいに古代人の暮らしのあとを訪ねる。

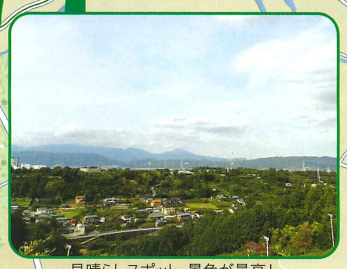
時間 2時間5分　距離 5.9km

- 足柄駅 5分 300m
- 五百羅漢駅 4分 200m
- 玉宝寺（五百羅漢）① 18分 900m
- 久野1号古墳② 32分 1700m
- 久野4号古墳② 5分 300m
- 久野15号古墳② 10分 500m
- 小田原フラワーガーデン⑦ 20分 700m
- 総世寺③ 5分 200m
- ざる菊園（鈴木さん宅） 25分 1100m
- 中世集石墓④ 5分 200m
- 南船原 30分 2100m
- 東泉院 3分 200m
- 北条幻庵屋敷跡⑤ 50分 2900m
- 小田原駅 30分 1900m
- 足柄駅

南船原から小田原駅までバスで約 30 分または足柄駅まで徒歩。●詳しくは伊豆箱根バス ☎0465-22-3166



ざる菊園　秋に自宅の庭を開放



見晴らしスポット　景色が最高！

西海子小路桜のトンネル

道標を目印にして歩こう！

旧東海道	箱根八里
総構	
荻窪用水	
小田原用水	

凡例	
コース案内板	
道標	
眺望スポット	VIEW!!
開渠（かいきょ）	

荻窪用水散策コース

時間 1時間50分　距離 5.7km

江戸時代に湯本（箱根町）から早川の水を引いて山あいに作られた荻窪用水の流れをたどる。

- 風祭駅 10分 500m
- 萬松院㉔ 20分 700m
- 山縣水道水源池㉕ 10分 500m
- 板橋用水取水口 3分 200m
- 煙硝蔵堰取水口（えんしょうくらぜきしゅすいぐち） 10分 800m
- 水車小屋㉖ 23分 1500m
- 狩俣隧道取水口 25分 1900m
- めだかの学校㉗ 10分 300m
- 小田原駅西口 25分 1000m

【注意】急坂やけもの道など歩きにくい箇所あり。
農林水産大臣選定「全国疎水100選」、社団法人土木学会「土木遺産」認定。

歴史と文化の香るまち散策コース

時間 2時間20分　距離 8km

戦国時代・江戸時代から近代まで小田原城下に培われた文化と風情を訪ねる。

- 小田原駅西口 10分 500m
- 浄永寺⑮ 18分 1000m
- 大久保神社 14分 700m
- 小峯御鐘ノ台大堀切⑯ 16分 900m
- 傳肇寺（でんじょう） 10分 500m
- 大久寺⑰ 6分 400m
- 早川口遺構⑯ 15分 800m
- 小田原文学館・白秋童謡館⑱ 16分 900m
- 小田原宿なりわい交流館⑲ 10分 600m
- 小田原城址公園※ 5分 200m
- 報徳二宮神社⑳・清閑亭㉑ 17分 1300m
- 北条氏政・氏照の墓所㉒ 3分 200m
- 小田原駅東口

※城址公園の散策時間を除く。